

「文化芸術」についての県政モニターアンケート結果

本県では、令和3年3月に滋賀県文化振興基本方針(第3次)を策定し、「文化芸術の力で心豊かな活力ある滋賀を創る」を基本目標として、誰もが文化芸術に親しめる環境づくりなどに取り組んでいます。

こうした取組をより効果的に進めるため、県民の皆さんの文化芸術に関する意識や行動の把握を目的として、アンケートを実施しました。

★調査時期：令和5年9月

★対象者：県政モニター296人

★回答数：256人（回収率86.5%）

★担当課：文化スポーツ部文化芸術振興課

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

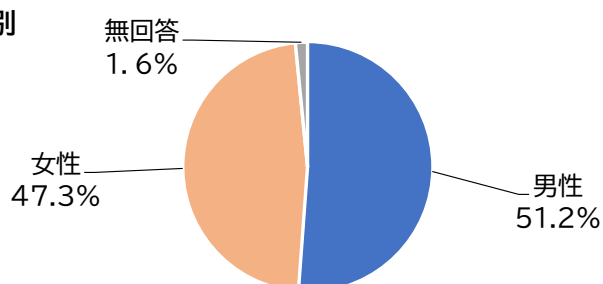
※各グラフの下段および()内の数字は、前年度の実績です。（今年度新たに設けた設問もあります。）

【属性】

◆性別

項 目	人数(人)	割合(%)
男性	131	51.2
女性	121	47.3
無回答	4	1.6
合 計	256	100.0

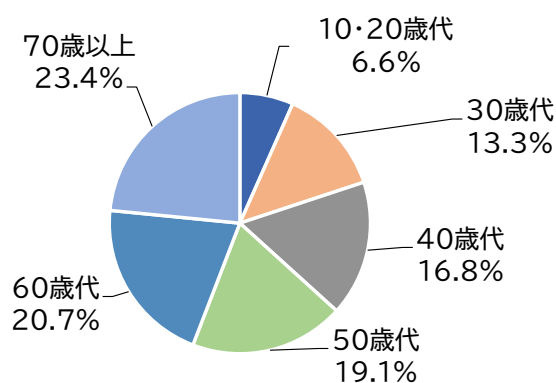
性別



◆年代

項 目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	17	6.6
30歳代	34	13.3
40歳代	43	16.8
50歳代	49	19.1
60歳代	53	20.7
70歳以上	60	23.4
合 計	256	100.0

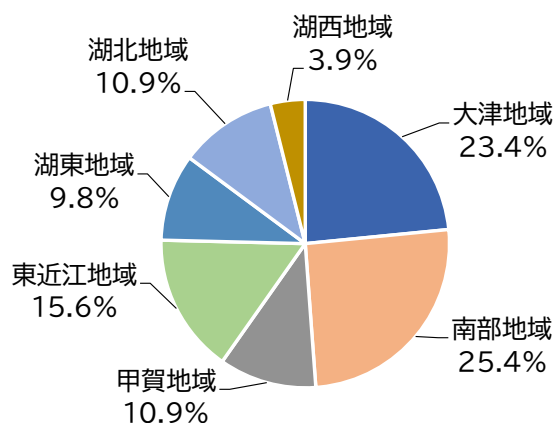
年代



◆地域

項 目	人数(人)	割合(%)
大津地域	60	23.4
南部地域	65	25.4
甲賀地域	28	10.9
東近江地域	40	15.6
湖東地域	25	9.8
湖北地域	28	10.9
湖西地域	10	3.9
合 計	256	100.0

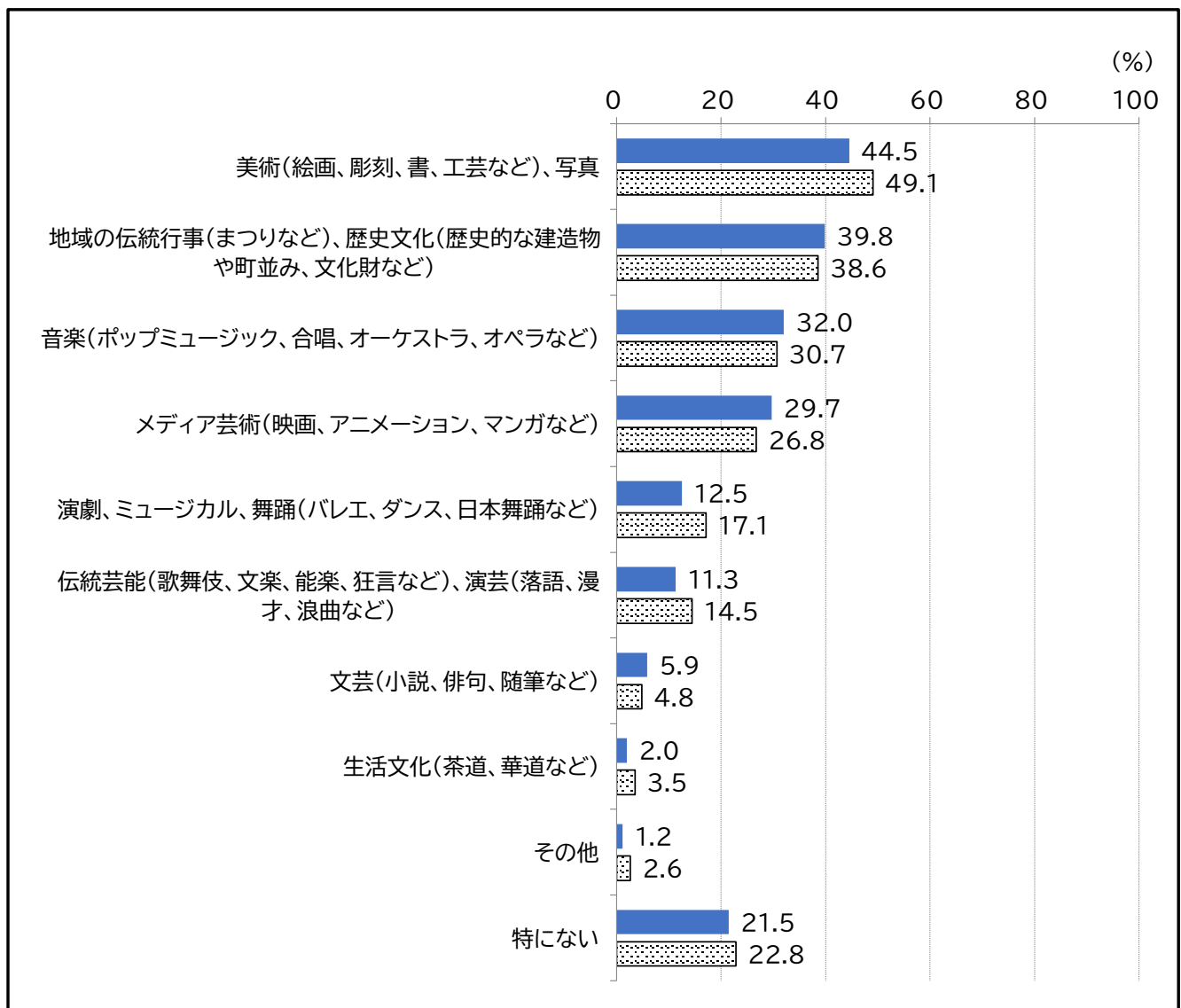
地域



問1 過去1年間に、あなたが文化施設(美術館、文化ホール、映画館等)や会場等に出向いて鑑賞したものは何ですか。(「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=256)

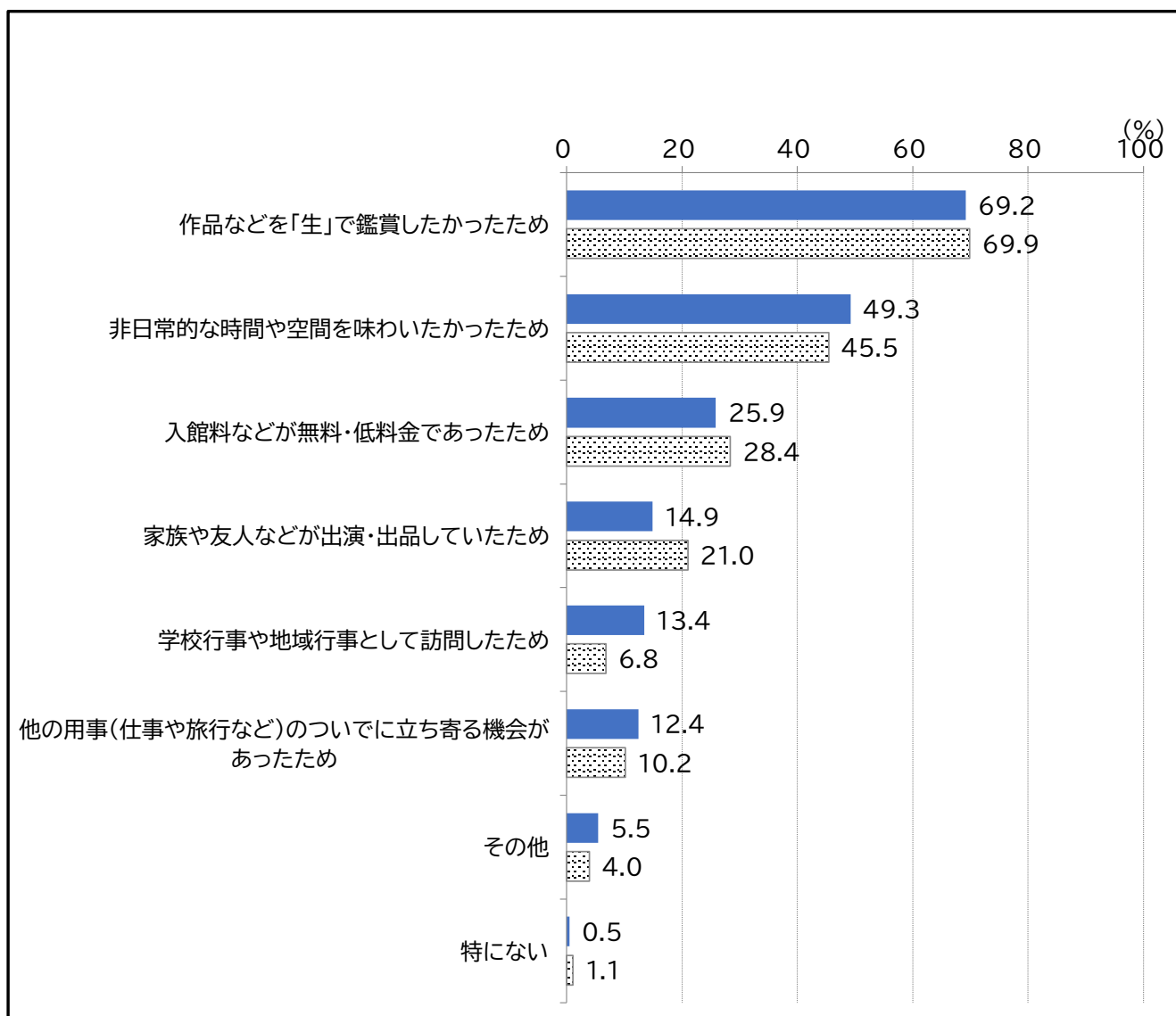
項 目	人数(人)	割合(%)
美術(絵画、彫刻、書、工芸など)、写真	114	44.5
地域の伝統行事(まつりなど)、歴史文化(歴史的な建造物や町並み、文化財など)	102	39.8
音楽(ポップミュージック、合唱、オーケストラ、オペラなど)	82	32.0
メディア芸術(映画、アニメーション、マンガなど)	76	29.7
演劇、ミュージカル、舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊など)	32	12.5
伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言など)、演芸(落語、漫才、浪曲など)	29	11.3
文芸(小説、俳句、随筆など)	15	5.9
生活文化(茶道、華道など)	5	2.0
その他	3	1.2
特にない	55	21.5

⇒「文化施設等での直接鑑賞」の割合：78.5%(77.2%)



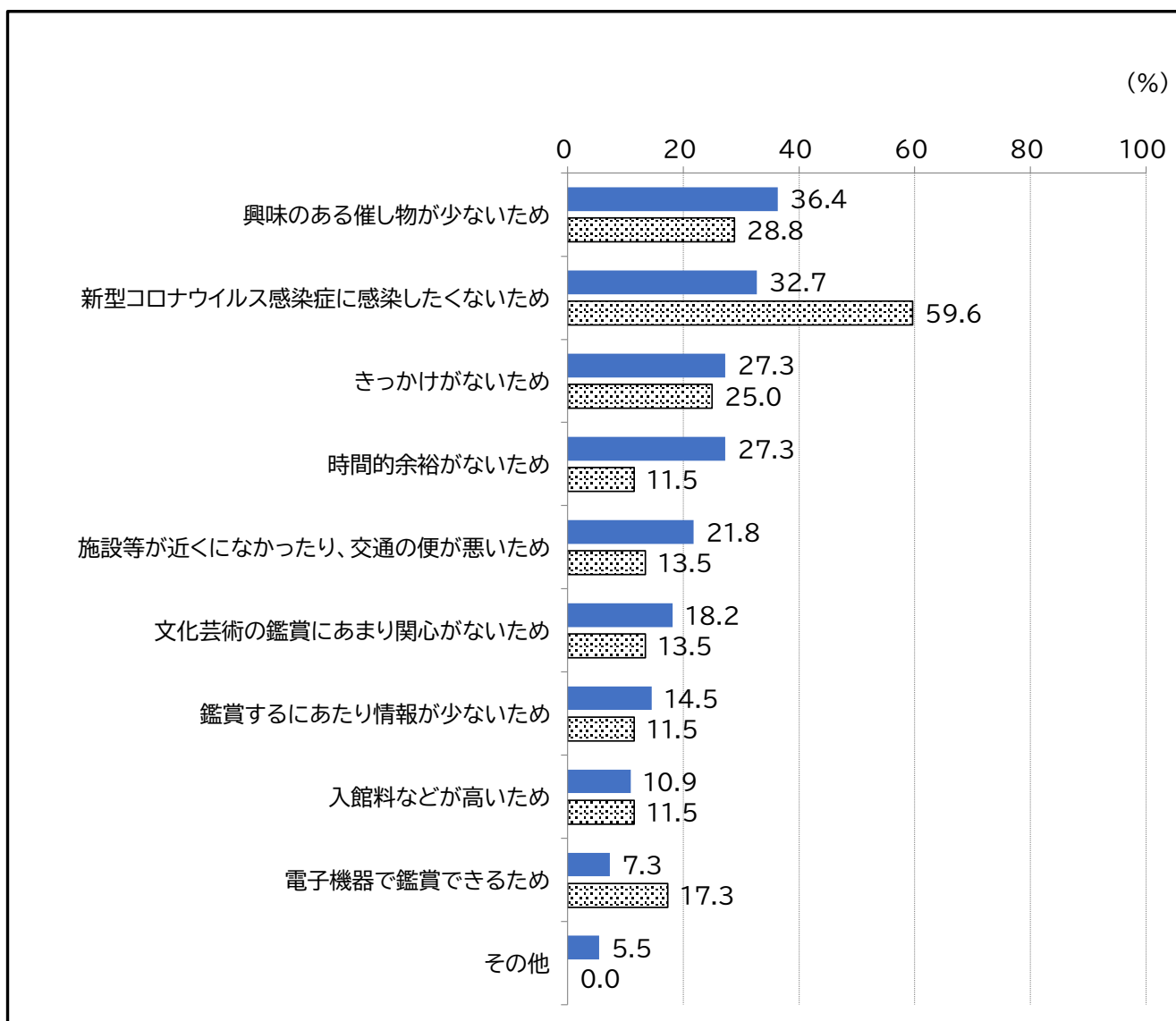
問2 問1で「特にない」以外を選択した方におたずねします。文化施設や会場等に出向いて鑑賞した理由は何ですか。（「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=201）

項 目	人数(人)	割合(%)
作品などを「生」で鑑賞したかったため	139	69.2
非日常的な時間や空間を味わいたかったため	99	49.3
入館料などが無料・低料金であったため	52	25.9
家族や友人などが出演・出品していたため	30	14.9
学校行事や地域行事として訪問したため	27	13.4
他の用事(仕事や旅行など)のついでに立ち寄る機会があったため	25	12.4
その他	11	5.5
特にない	1	0.5



問3 問1で「特になし」を選択した方におたずねします。文化施設や会場等に出向いて鑑賞しなかった理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも。N=55)

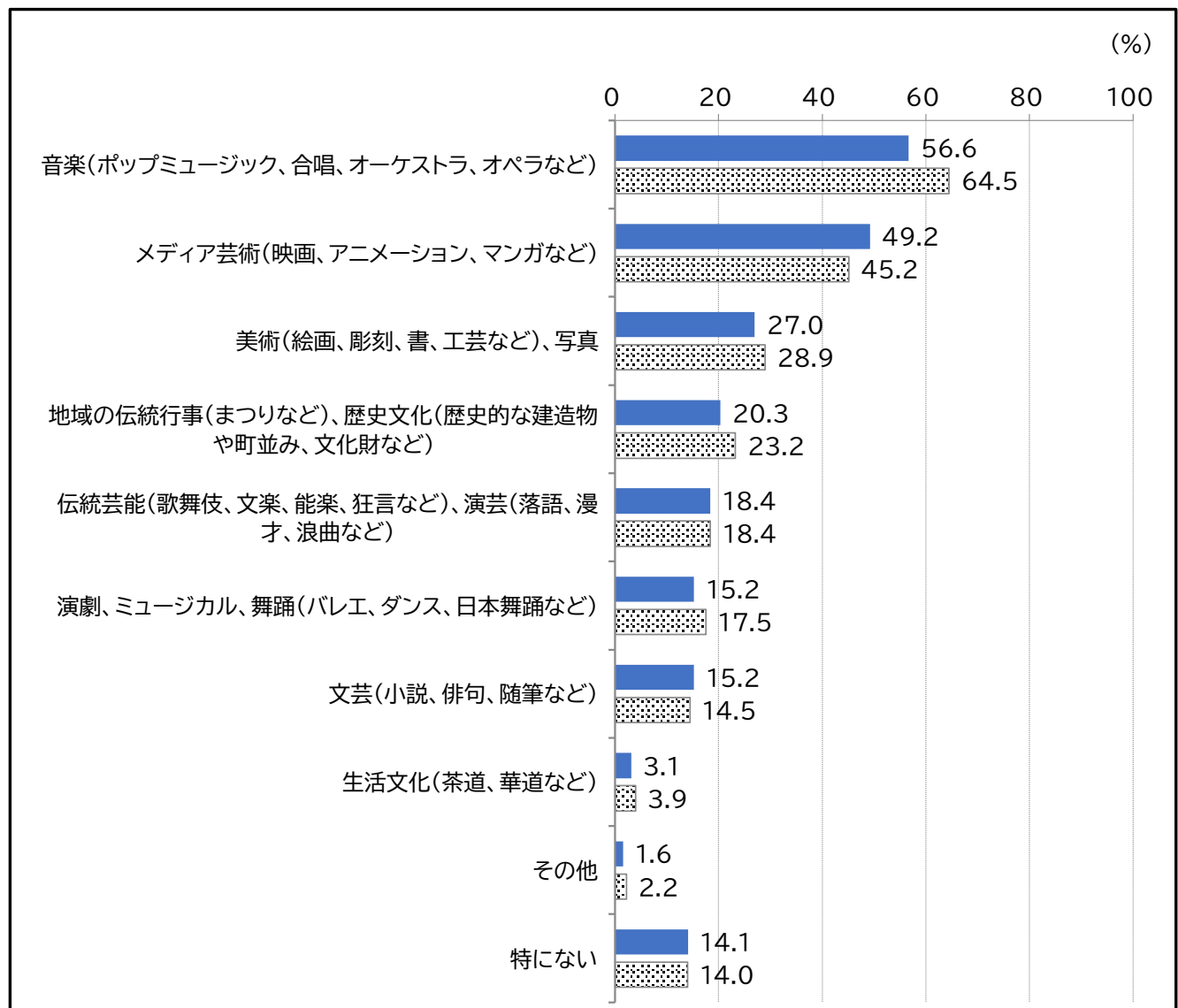
項 目	人数(人)	割合(%)
興味のある催し物が少ないため	20	36.4
新型コロナウイルス感染症に感染したくないため	18	32.7
きっかけがないため	15	27.3
時間的余裕がないため	15	27.3
施設等が近くになかったり、交通の便が悪いため	12	21.8
文化芸術の鑑賞にあまり関心がないため	10	18.2
鑑賞するにあたり情報が少ないため	8	14.5
入館料などが高いため	6	10.9
電子機器で鑑賞できるため	4	7.3
その他	3	5.5



問4 過去1年間に、あなたが興味を持って電子機器(テレビ、ラジオ、パソコン、スマートフォン等)で鑑賞したものは何ですか。(「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=256)

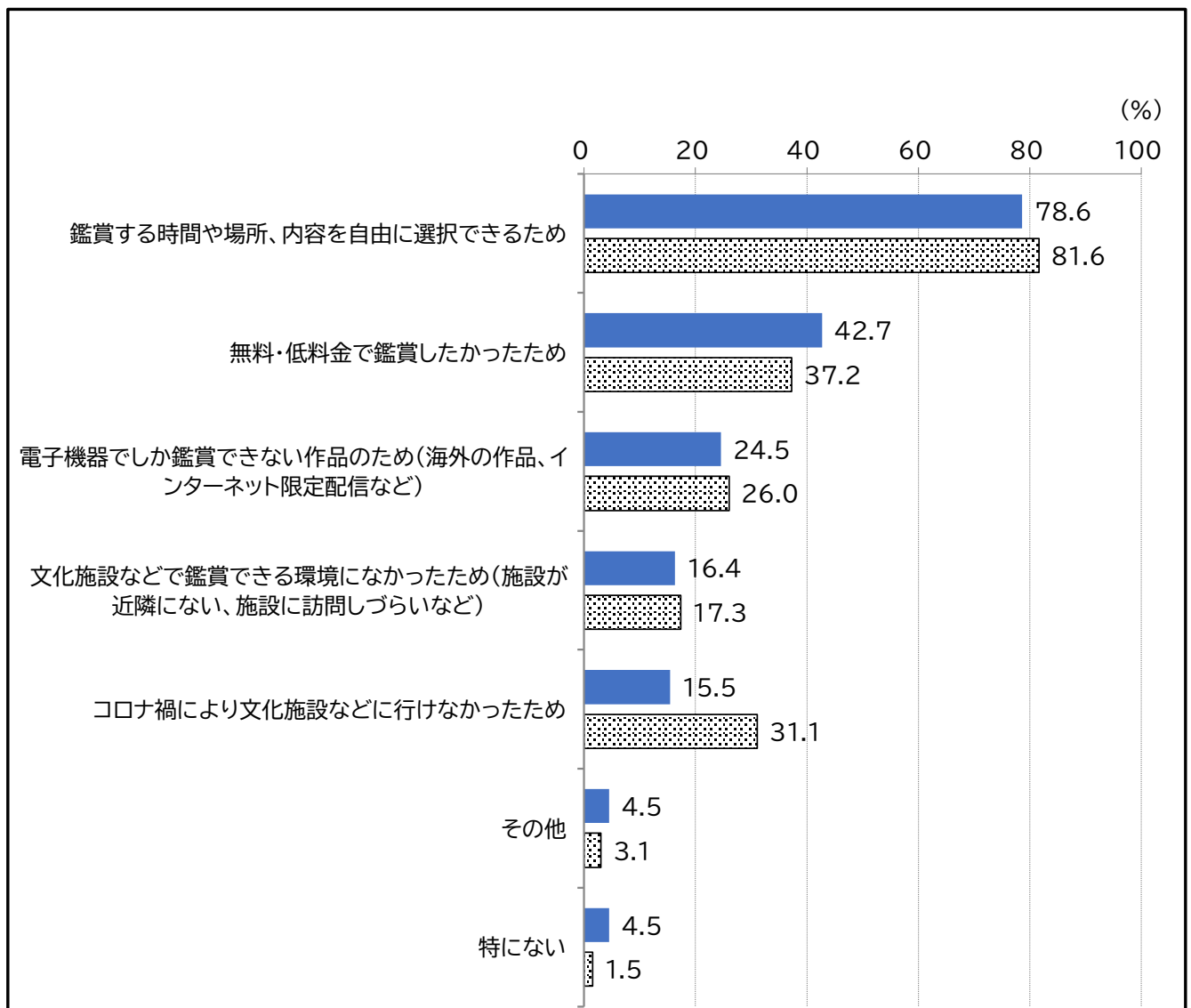
項 目	人数(人)	割合(%)
音楽(ポップミュージック、合唱、オーケストラ、オペラなど)	145	56.6
メディア芸術(映画、アニメーション、マンガなど)	126	49.2
美術(絵画、彫刻、書、工芸など)、写真	69	27.0
地域の伝統行事(まつりなど)、歴史文化(歴史的な建造物や町並み、文化財など)	52	20.3
伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言など)、演芸(落語、漫才、浪曲など)	47	18.4
演劇、ミュージカル、舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊など)	39	15.2
文芸(小説、俳句、随筆など)	39	15.2
生活文化(茶道、華道など)	8	3.1
その他	4	1.6
特にない	36	14.1

⇒「電子機器による鑑賞」の割合：85.9%(86.0%)



問5 問4で「特にない」以外を選択された方におたずねします。電子機器で鑑賞した理由は何ですか。（「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=220）

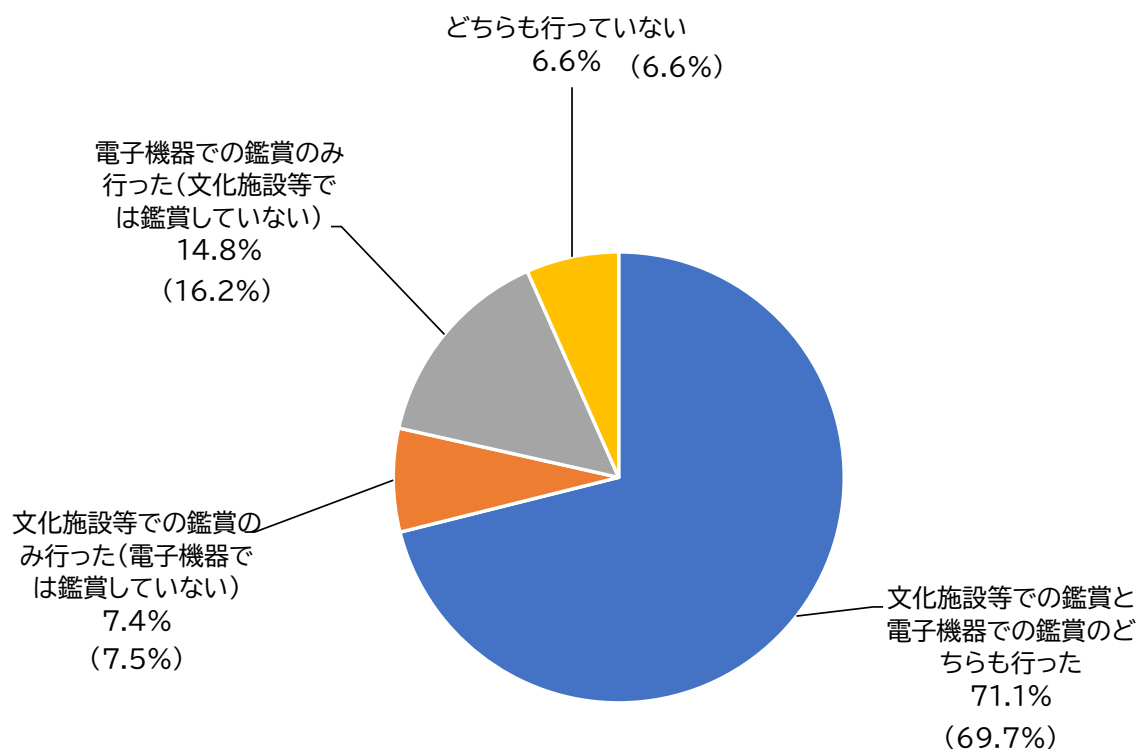
項 目	人数(人)	割合(%)
鑑賞する時間や場所、内容を自由に選択できるため	173	78.6
無料・低料金で鑑賞したかったため	94	42.7
電子機器でしか鑑賞できない作品のため(海外の作品、インターネット限定配信など)	54	24.5
文化施設などで鑑賞できる環境になかったため(施設が近隣にない、施設に訪問しづらいなど)	36	16.4
コロナ禍により文化施設などに行けなかったため	34	15.5
その他	10	4.5
特にない	10	4.5



★1年間に文化芸術を鑑賞したことがある県民の割合(問1と問4の回答から作成)

項目	人数(人)	割合(%)	
文化施設等での鑑賞と電子機器での鑑賞のどちらも行った	182	71.1	93.4
文化施設等での鑑賞のみ行った(電子機器では鑑賞していない)	19	7.4	
電子機器での鑑賞のみ行った(文化施設等では鑑賞していない)	38	14.8	
どちらも行っていない	17	6.6	6.6
合計	256	100.0	100.0

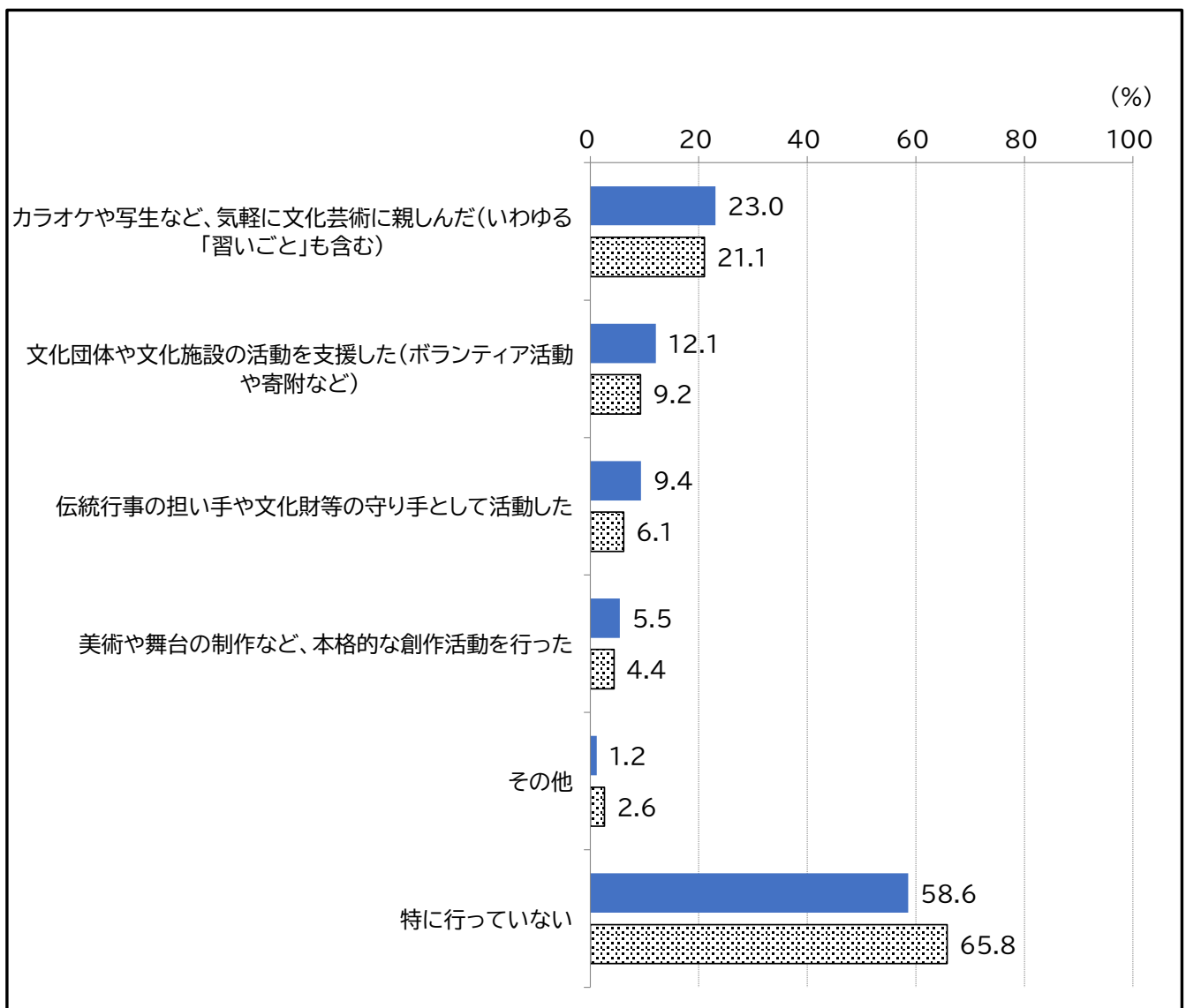
⇒【評価指標①】1年間に文化芸術を鑑賞したことがある県民の割合：93.4%(93.4%)



問6 過去1年間に、あなたは文化芸術活動を行いましたか。ただし、「鑑賞」のみの場合は除きます。（「特に行っていない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=256）

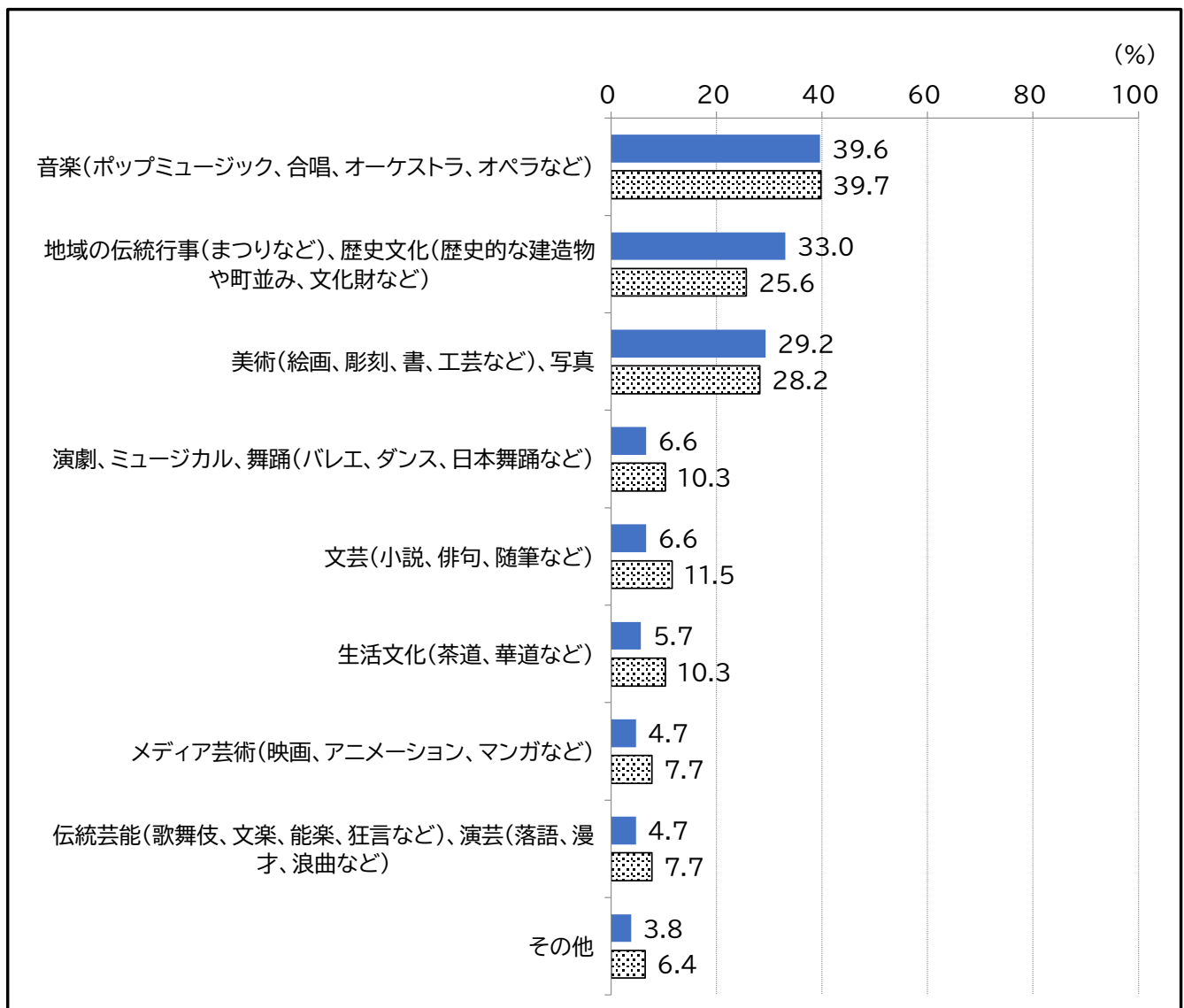
項 目	人数(人)	割合(%)
カラオケや写生など、気軽に文化芸術に親しんだ(いわゆる「習いごと」も含む)	59	23.0
文化団体や文化施設の活動を支援した(ボランティア活動や寄附など)	31	12.1
伝統行事の担い手や文化財等の守り手として活動した	24	9.4
美術や舞台の制作など、本格的な創作活動を行った	14	5.5
その他	3	1.2
特に行っていない	150	58.6

⇒【評価指標⑤】1年間に文化芸術の創作活動に携わったことのある県民の割合：41.4%(34.2%)



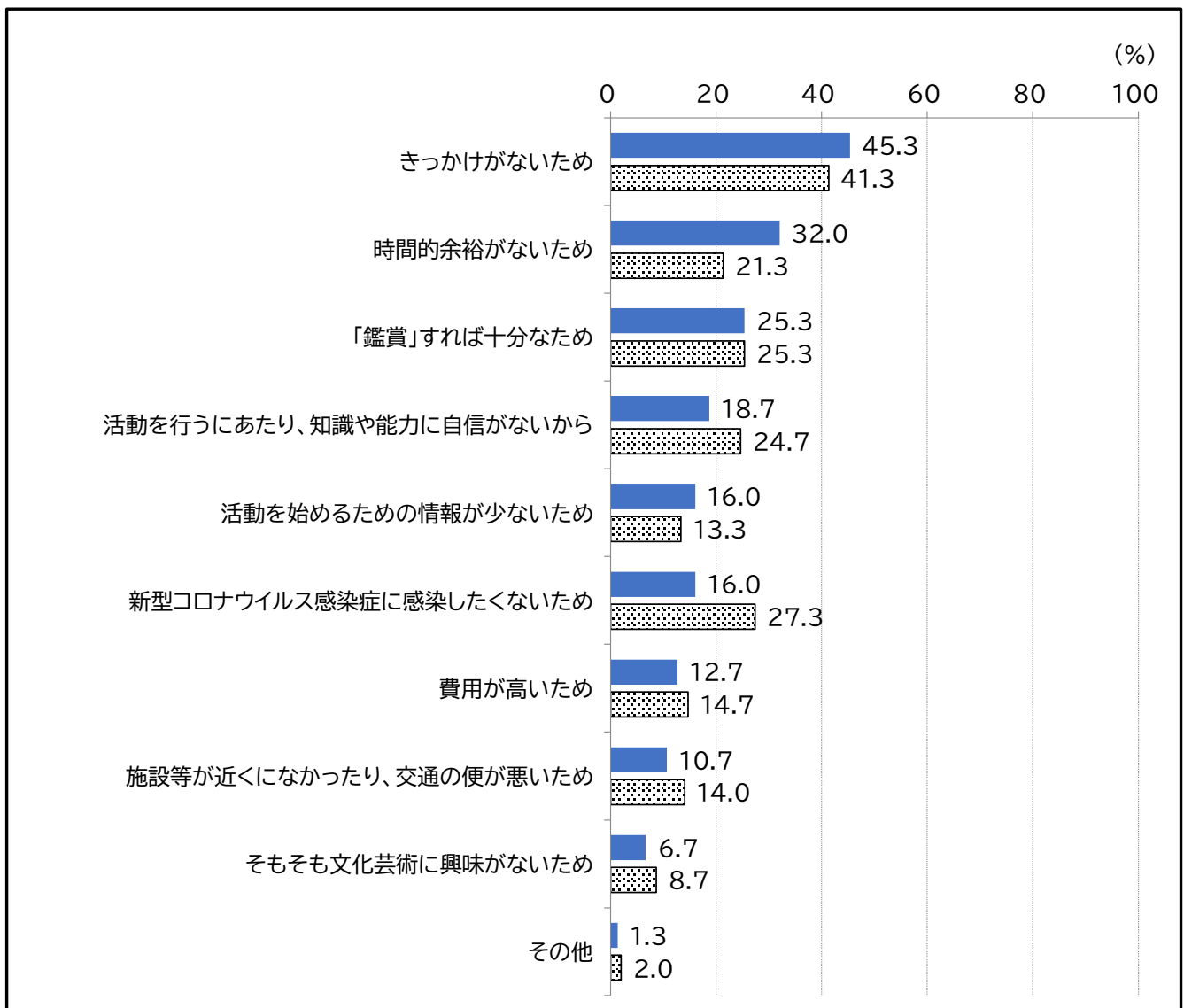
問7 問6で「特に行っていない」以外を選択された方におたずねします。活動を行ったのはどのジャンルですか。(回答チェックはいくつでも。N=106)

項 目	人数(人)	割合(%)
音楽(ポップミュージック、合唱、オーケストラ、オペラなど)	42	39.6
地域の伝統行事(まつりなど)、歴史文化(歴史的な建造物や町並み、文化財など)	35	33.0
美術(絵画、彫刻、書、工芸など)、写真	31	29.2
演劇、ミュージカル、舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊など)	7	6.6
文芸(小説、俳句、随筆など)	7	6.6
生活文化(茶道、華道など)	6	5.7
メディア芸術(映画、アニメーション、マンガなど)	5	4.7
伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言など)、演芸(落語、漫才、浪曲など)	5	4.7
その他	4	3.8



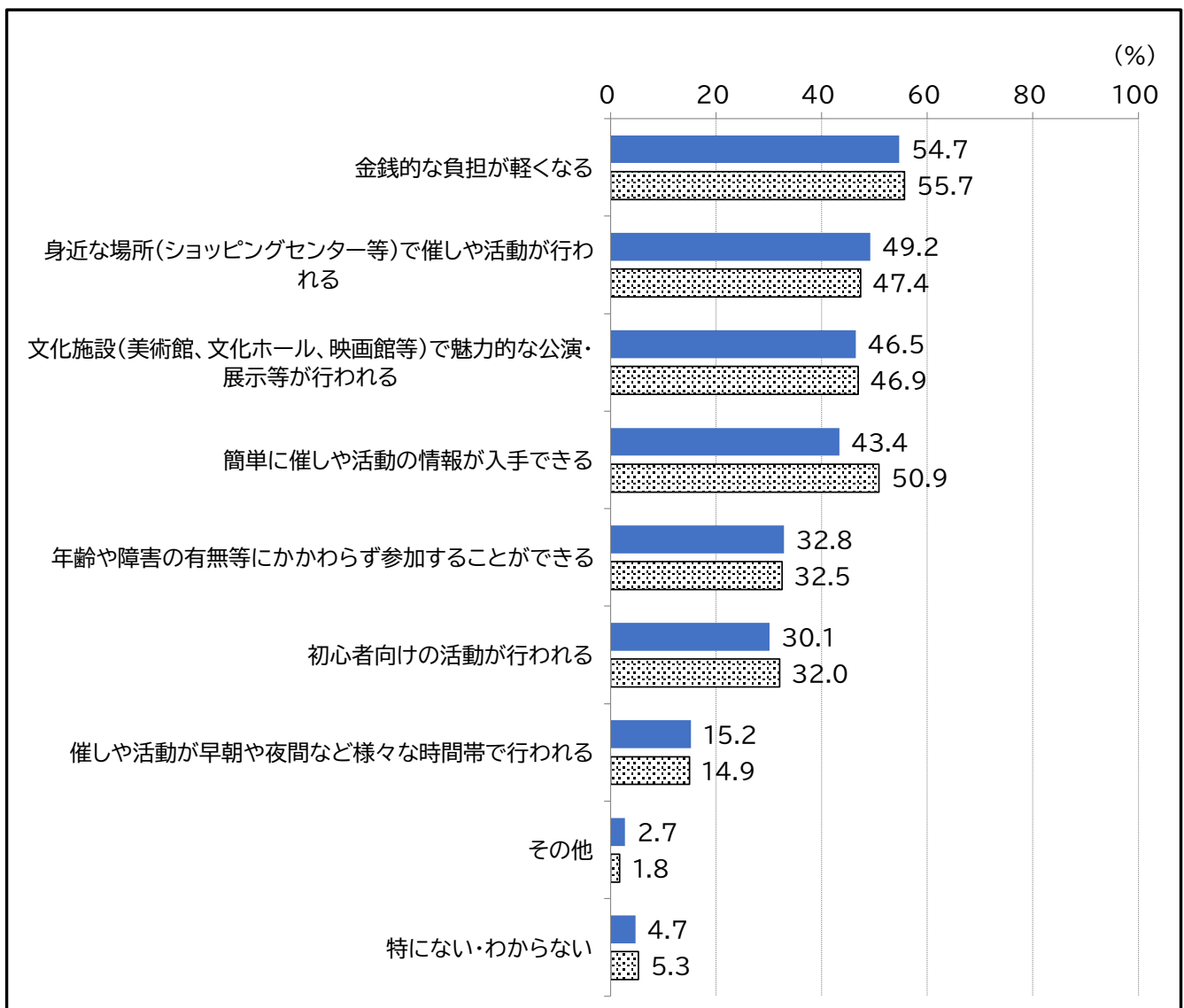
問8 問6で「特に行っていない」を選択された方におたずねします。活動を行わなかった理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも。N=150)

項 目	人数(人)	割合(%)
きっかけがないため	68	45.3
時間的余裕がないため	48	32.0
「鑑賞」すれば十分なため	38	25.3
活動を行うにあたり、知識や能力に自信がないから	28	18.7
活動を始めるための情報が少ないため	24	16.0
新型コロナウイルス感染症に感染したくないため	24	16.0
費用が高いため	19	12.7
施設等が近くなかったり、交通の便が悪いため	16	10.7
そもそも文化芸術に興味がないため	10	6.7
その他	2	1.3



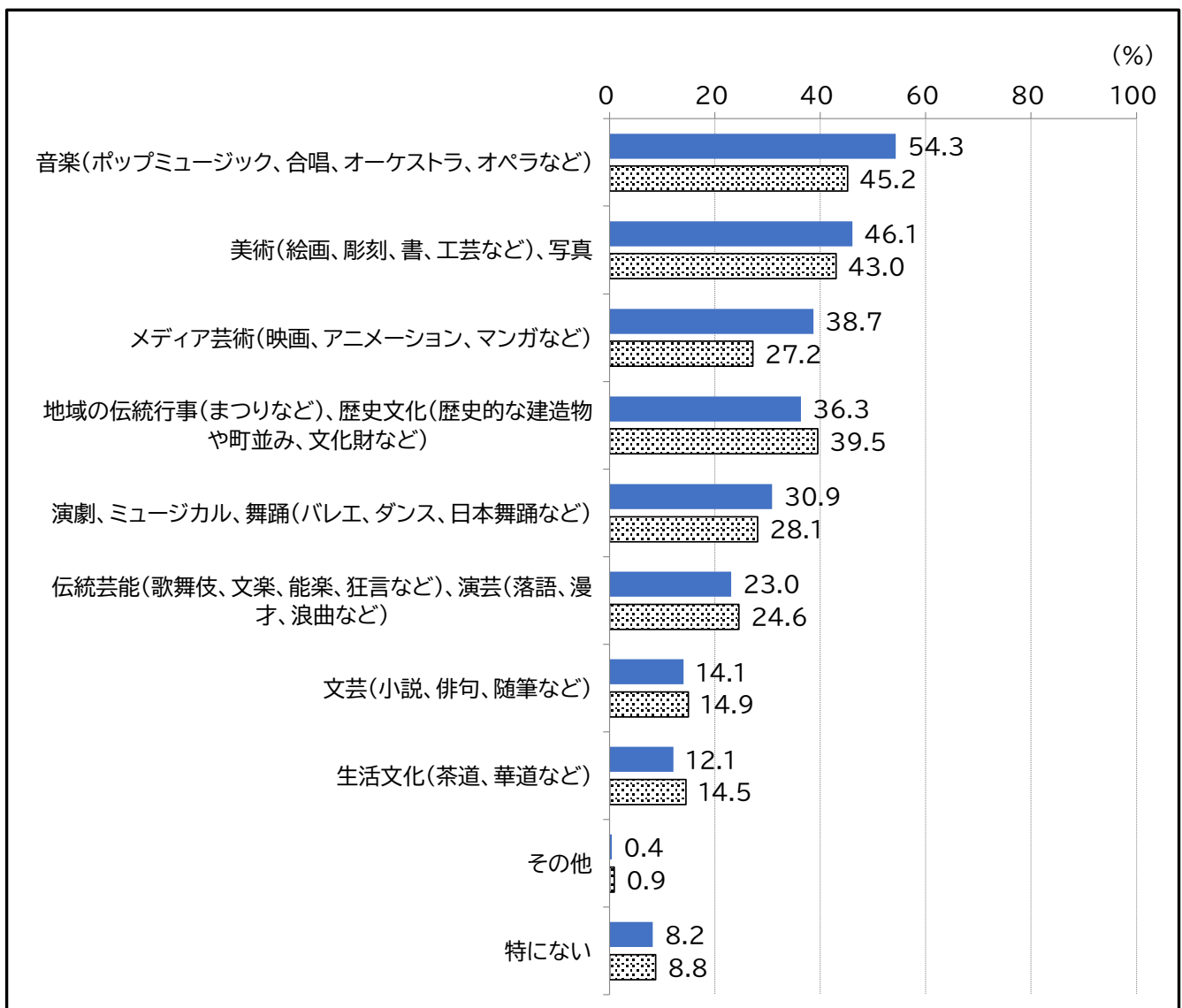
問9 あなたが文化芸術活動をしたり、見たり、支えたりするのに必要なことは何だと思いますか。(「特にない・わからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=256)

項 目	人数(人)	割合(%)
金銭的な負担が軽くなる	140	54.7
身近な場所(ショッピングセンター等)で催しや活動が行われる	126	49.2
文化施設(美術館、文化ホール、映画館等)で魅力的な公演・展示等が行われる	119	46.5
簡単に催しや活動の情報が入手できる	111	43.4
年齢や障害の有無等にかかわらず参加することができる	84	32.8
初心者向けの活動が行われる	77	30.1
催しや活動が早朝や夜間など様々な時間帯で行われる	39	15.2
その他	7	2.7
特にない・わからない	12	4.7



問10 今後あなたが新たにもしくは継続して親しみたい文化芸術活動(テレビ、ラジオ、レコード、CD、DVD、インターネットなどによる鑑賞を除く)の分野は何ですか。(「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=256)

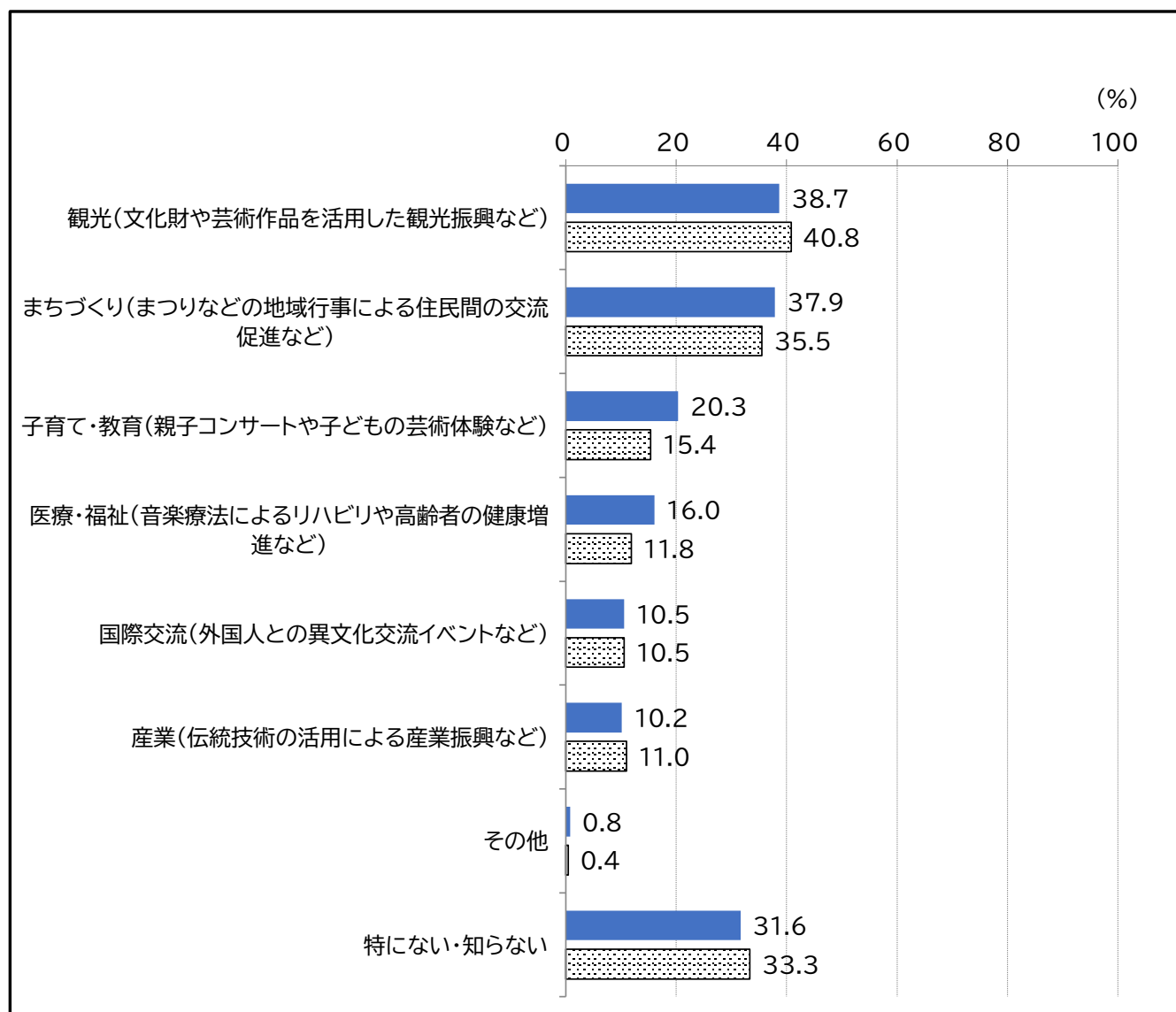
項 目	人数(人)	割合(%)
音楽(ポップミュージック、合唱、オーケストラ、オペラなど)	139	54.3
美術(絵画、彫刻、書、工芸など)、写真	118	46.1
メディア芸術(映画、アニメーション、マンガなど)	99	38.7
地域の伝統行事(まつりなど)、歴史文化(歴史的な建造物や町並み、文化財など)	93	36.3
演劇、ミュージカル、舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊など)	79	30.9
伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言など)、演芸(落語、漫才、浪曲など)	59	23.0
文芸(小説、俳句、随筆など)	36	14.1
生活文化(茶道、華道など)	31	12.1
その他	1	0.4
特にない	21	8.2



問11 近年文化芸術の持つ様々な力(例:感動、共感等を生み出す力)を観光や福祉等の他分野に活用する取組が広がっています。あなたの身の回りで文化芸術の持つ力が活用されている分野はありますか。(「特にない・知らない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=256)

項 目	人数(人)	割合(%)
観光(文化財や芸術作品を活用した観光振興など)	99	38.7
まちづくり(まつりなどの地域行事による住民間の交流促進など)	97	37.9
子育て・教育(親子コンサートや子どもの芸術体験など)	52	20.3
医療・福祉(音楽療法によるリハビリや高齢者の健康増進など)	41	16.0
国際交流(外国人との異文化交流イベントなど)	27	10.5
産業(伝統技術の活用による産業振興など)	26	10.2
その他	2	0.8
特にない・知らない	81	31.6

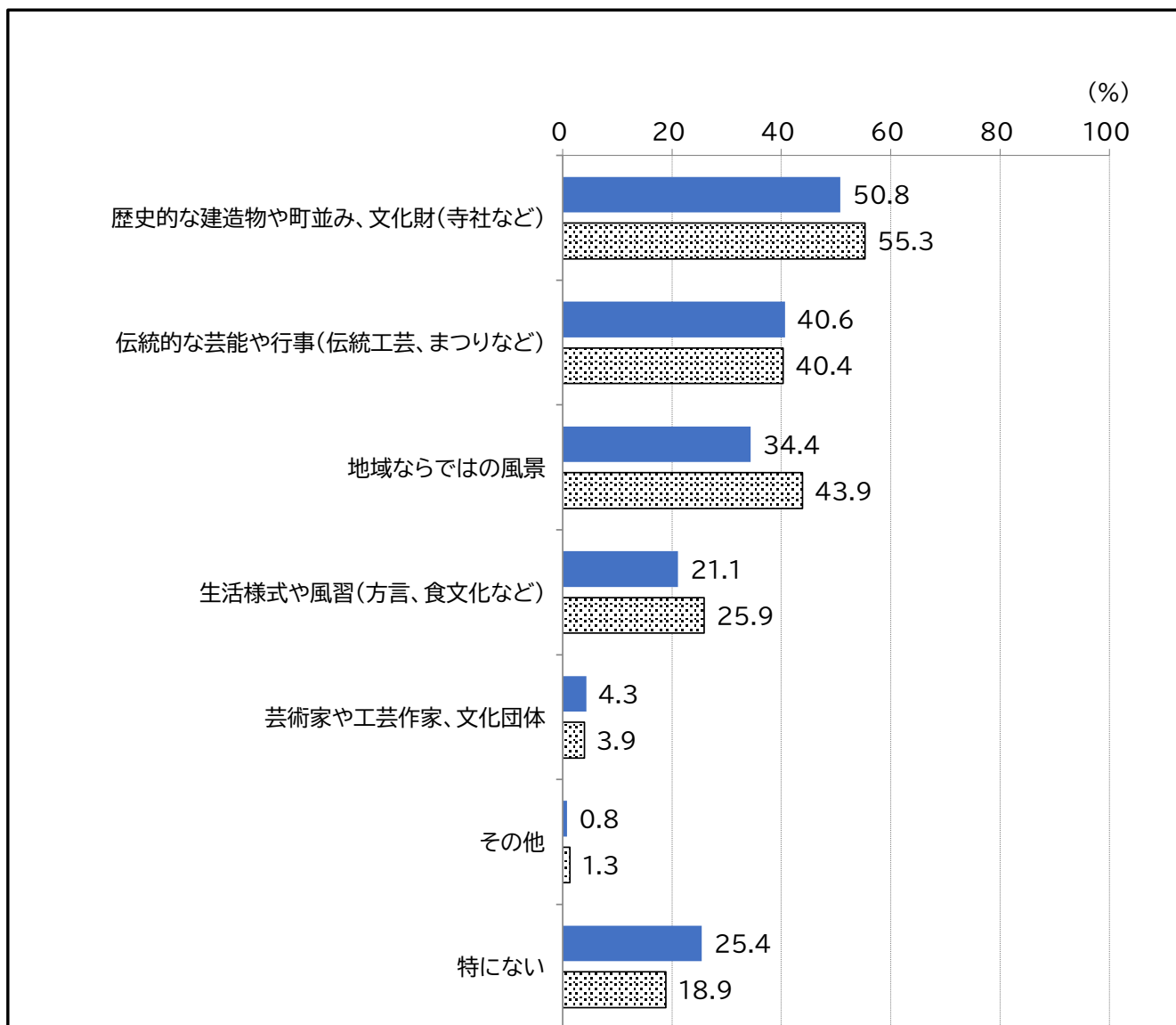
⇒【評価指標⑪】地域において文化芸術と他分野との連携した取組があるとする県民の割合：68.4%(66.7%)



問12 お住まいの地域には、あなたが魅力や誇りを感じる文化芸術資源がありますか。(「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=256)

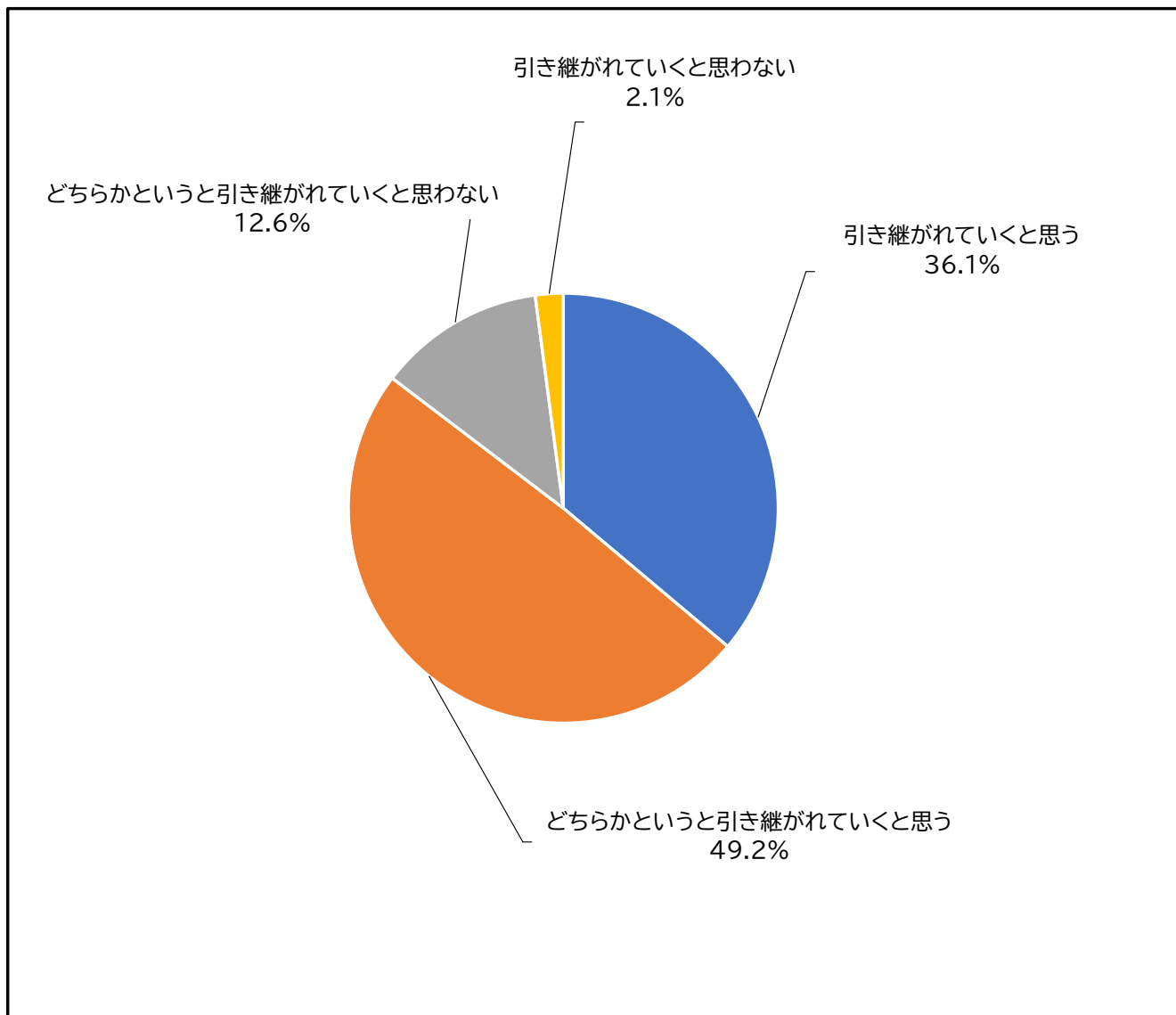
項 目	人数(人)	割合(%)
歴史的な建造物や町並み、文化財(寺社など)	130	50.8
伝統的な芸能や行事(伝統工芸、まつりなど)	104	40.6
地域ならではの風景	88	34.4
生活様式や風習(方言、食文化など)	54	21.1
芸術家や工芸作家、文化団体	11	4.3
その他	2	0.8
特にない	65	25.4

⇒【評価指標⑩】地域に魅力や誇りを感じる文化芸術資源があるとする県民の割合：74.6%(81.1%)



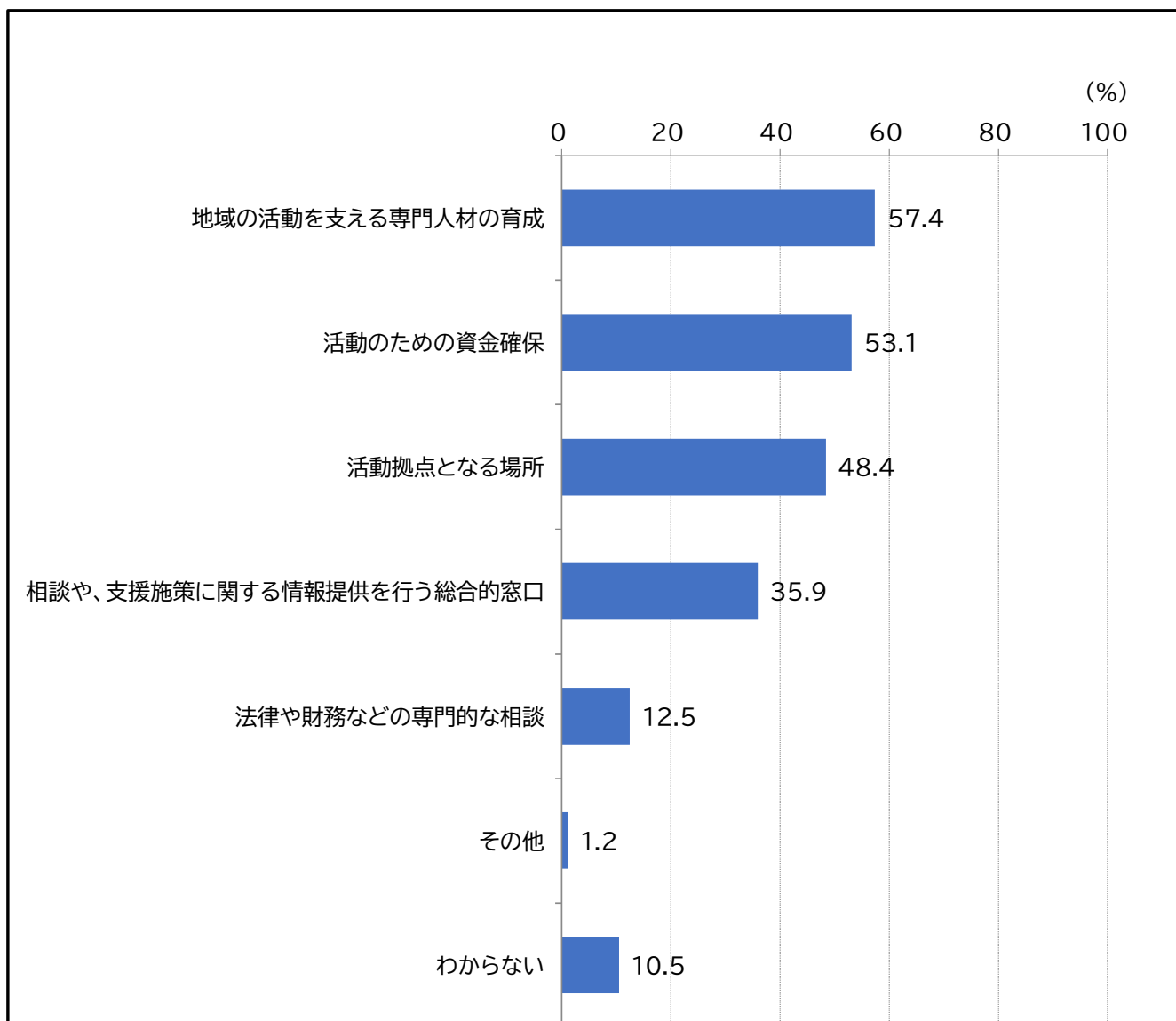
問13 問12で「1～6」を選択された方におたずねします。あなたは、その文化芸術資源が次世代に引き継がれていくと思いますか。(回答チェックは1つだけ。N=191)

項 目	人数(人)	割合(%)
引き継がれていくと思う	69	36.1
どちらかという引き継がれていくと思う	94	49.2
どちらかという引き継がれていくと思わない	24	12.6
引き継がれていくと思わない	4	2.1
合 計	191	100.0



問14 滋賀の美の良さを実感した人が、その魅力を自ら伝えたり、守り手として地域の活動に参画したりするために、あなたはどのような支援が必要だと思いますか。(「わからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。N=256)

項 目	人数(人)	割合(%)
地域の活動を支える専門人材の育成	147	57.4
活動のための資金確保	136	53.1
活動拠点となる場所	124	48.4
相談や、支援施策に関する情報提供を行う総合的窓口	92	35.9
法律や財務などの専門的な相談	32	12.5
その他	3	1.2
わからない	27	10.5



問15 その他、滋賀県の文化芸術の振興に向けて、御意見などがありましたらお聞かせください。(抜粋)

<情報発信について>

・滋賀県の文化芸術の振興に向けて、中心的に推進する部署をはっきりさせ、大津市だけでなく、長浜市、彦根市等それぞれの地域で推進する活動を、広報等を通じて根気よくPRしていくことが重要だと思います。

・文化芸術の存在意義、そして、それに接する機会、敷居をある程度低くすることが必要と考えます。
また、情報発信をできるだけ継続的に、多くすることも必要と考えます。

・文化芸術の振興をする上で重要なことは、「個人の関心⇒みんなの関心」につなげていくことだと考える。いくらオペラや小説の魅力を伝えたとしても、興味がわからない人もいます。しかし、地域全体となって文化を盛り上げていこうとする機運を高めていくことで、「仕方ないから」という感じで興味の低い人も呼び込むことができる。そのため、個人の関心から、それを昇華させて「みんなの関心」につながるような企画やイベントが重要だと考える。

・滋賀県のニュースなどを見ると、滋賀にある素晴らしいものに気付かされます。観音様など。しかし、普段はなかなかそういったものを知るきっかけが無いので、訪ねてみたいと思う事が少ないです。実は知られていないけれども、一度見てみる価値のあるものを多くの人が知る機会が増えたと良いと思います。

・県が主催又は、支援する振興策について、積極性が不足しているのではないかと思います。関西だけでなく、東京中心に関東への文化芸術開催のアピールが全く足りない。マスメディアをもっと活用すべきと思う。滋賀県出身の文化人を芸能界だけでなく、産業界その他も含め、広く採用してアピール欲しい。

・ユニークな展覧会(漫画家の原画展)などの誘致や、京都や大阪の都会で、流行った展覧会の誘致など。
また入口としては、ショッピングセンターなどでの催しをすることで、わざわざ見に行かずとも触れる機会が増え、そこで「いいな」と思ってもらえたら、本格的な舞台などに行く、といったような流れができるのでは、と思う。

・滋賀県の小学生はうみのこで宿泊体験をして琵琶湖について知識を深めます。その時は船に乗って宿泊するという事が楽しいと感じるだけかもしれませんが、大人になると貴重な体験がだったと思い琵琶湖に一層親しみを感じるようになります。この事と同じように、芸術も小さいときに学校行事の一環として触れる機会を与えていくことが必要と思います。

<後継者不足について>

・たまたま地元の国際交流の講習の一環で東海道の散策をいたしました。東海道の昔の風景であったり、建物の成り立ち歴史についての詳細なお話をしてくださっていた方が高齢になり、受け継いでボランティアで活動されている方も高齢になってき、後継者がいないという話をされていました。ボランティアで何かできればという思いはあるものの、コロナ禍も相まって日々の生活をする中で手一杯、金銭的時間的余裕がありません。せめて、映像として語り手や歴史を語れる方々、ボランティア活動されておられる方の声を残すだけでも、後世に残せるのではと思いました。

・伝統芸や祭りなどの後継者不足は深刻だと思います。高齢化過疎化少子化全てが重なり、生活さえも心配です

・文化芸術を後々に継続していく事は大事ですが、振興が先ずべきになりかけている様に思う。どの業種の芸術でも 若い担い手不足が起きているのではないのでしょうか？世知辛い世になった？からか各人に余裕がなくなったのか？興味が無いのか？です。継続させるには、興味を持ってもらうには？を考えるのか、個人のスキルを延ばし ボランティア活動ではなく仕事に出来るのか？を考えないとともに思います。

<他分野との連携について>

・地域のまつりが無形文化財、有形文化遺産として世界に認定されているが地域の人たちだけでなく専門家や支援する体制が必要です。まつりには小学生から大学生までの若者の協力が必要なので保存会などの集まりが必要です。絵画や写真などを展示する場所としてスーパーなどの商業施設が場所を提供してくださっています。ありがたいと思います。他の店舗でも協力してくれると県民の芸術活動が活発になるかもしれませんね。

・人気小説やアニメなどとコラボした企画を行政と企業がタイアップしてすすめてほしい。楽しい企画になると思う。

<金銭面について>

・近くでの芸術鑑賞は行こうと思うけど、遠いところの方が色々な催しがあるけどなかなか遠方なので時間をかけてまで行けない。低料金であるか無料だったら、行きたいと思います。生活のためのものが値上がりしているので、芸術にお金をかける余裕がないのが現状です

・個展や発表会などの会場探しに苦慮している状況があると思う。ただ「ここいいね！」と思っても借用費が高くて手も足も出ない。会場側からすれば、せめてこれくらいの費用の負担はしてほしいということだろうけれど、個人的な発表をしたいと思う個人には負担しきれない。

・継続的な活動のための資金援助や活動拠点の提供が必要と思います。

<文化財について>

・新琵琶湖文化館で 滋賀の文化・芸術についても総合窓口の機能を希望します。滋賀の文化・芸術の総合窓口機能を多様な仕組み(オンラインを含めて)の検討も希望します。

・まず滋賀の一番の特徴は奈良、平安時代に中国、朝鮮などから渡来した文化や学問、技術が、滋賀の自然と人々によって育まれ独自の進化を遂げた歴史が有ること。それが体系的に整理されPRされているか？疑問。また、戦国時代から現代にかけての文化遺産も同様にPRが弱い。そういう歴史的遺産があって、かつ、現代の文化、芸術の振興を進めて行く上で、どれも中途半端な感じがして、一応何でもやっているけど滋賀県はこんな文化芸術振興を掲げていると他県の人にPRしにくいのが残念な所です。

(5) 県民生活への満足度

問10 滋賀県での暮らしについて、どの程度満足していますか。アからナのそれぞれの項目について、右の欄の1～5の中からあなたの満足度に最も近いものを選んでください。
(○はそれぞれ1つずつ)

下の表に示す21項目について、『満足度』を調査した。

1. 「感じる」
2. 「どちらかといえば感じる」
3. 「どちらかといえば感じない」
4. 「感じない」
5. 「わからない」

を選択肢とし、本報告書では『満足度』（「感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計）と『不満足度』（「どちらかといえば感じない」と「感じない」の合計）に着目して、分析を行った。

■県の施策（21項目）

	分野	項目
ア	経済	県内の中小企業の活動が活発であると感じますか。
イ	経済	滋賀県の魅力が発信されていると感じますか。
ウ	経済	農林水産業に魅力を感じますか。
エ	環境	琵琶湖や山といった身近な自然や環境が守られていると感じますか。
オ	環境	地球温暖化などへの対応が進んでいると感じますか。
カ	人	健康的な日常生活を送れていると感じますか。
キ	人	必要な医療サービスを利用できる環境が整っていると感じますか。
ク	人	必要な福祉サービスを利用できる環境が整っていると感じますか。
ケ	人	文化芸術活動に取り組むことができる環境が整っていると感じますか。
コ	人	スポーツをしたり、見たり、支えたりする環境や機会が整っていると感じますか。
サ	人	子どもを生み育てる環境が整っていると感じますか。
シ	人	子どもの教育環境が整っていると感じますか。
ス	人	出産、子育て、介護などとも両立した、柔軟な働き方ができる環境が整っていると感じますか。
セ	社会	道路などの社会インフラが整っていると感じますか。
ソ	社会	鉄道やバスなどの公共交通が整っていると感じますか。
タ	社会	地域とのつながりが維持されていると感じますか。
チ	社会	災害に対する備えが進んでいると感じますか。
ツ	社会	犯罪や事故が少なく、安全・安心な生活が送れていると感じますか。
テ	社会	農山漁村が持つ美しい風景や生活文化が守られていると感じますか。
ト	社会	年齢、性別、病気・障害の有無、国籍などにかかわらず、一人ひとりの人権が尊重され、個性や能力が発揮できる社会(共生社会)になっていると感じますか。
ナ	社会	デジタル化が進んで便利になったと感じますか。

①満足度（「感じる」＋「どちらかといえば感じる」と回答した割合）の高い項目

満足度

